

実践『ペルソナ』通信 (No. 124)

「スマホの待ち受け画面」に関する調査 Side-*Be*

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、女子大生の「スマホの待ち受け画面」について、観察調査を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科（担当：竹内光悦）」のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を研究する研究会です。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* とは、写真観察を行い、実態を考察した調査レポートです。

総括

今回の調査を通して、実践女子大学生の多くが待ち受け画面に「推し」を設定しており、日常的に推しの存在を身近に感じたいというニーズが強いことが明らかになりました。また、推しを設定している人の中でも、顔がはっきり分かる写真を選ぶタイプと、横顔や下を向いた写真など推しだと気づかれにくい写真を選ぶタイプが存在し、推しへの思いの見せ方や周囲への配慮の仕方に個人差があることも確認されました。さらに、待ち受け画面にウィジェットを配置している人も多く、天気や時計、充電残量など、日常的に必要な情報をひと目で確認したいという実用的なニーズがうかがえました。その一方で、現在の空模様が反映されるデザインを待ち受けに設定している人も少数見られ、視覚的な楽しさや気分の変化を求める傾向も確認されました。これらの結果から、学生たちは待ち受け画面を「推しの存在を感じる場」としてだけでなく、「日常の利便性を高めるツール」や「気分を整える空間」として多面的に活用していることが分かりました。

調査結果のポイント(1) 推しを待ち受け画面にしている人が多い

風景写真や抽象的なデザインを待ち受けに設定している人よりも、圧倒的に「推し」の写真を待ち受けにしている人の割合が高く、推しを設定している人の中でも顔がはっきり分かる写真を使用している人が多いことから、日常的に推しを見て気分を上げたい、推しへの愛着を身近に感じたいというニーズが強いことが考えられます。

(2) 推しを待ち受け画面にしている人の中でも、2つのタイプがある

推しを待ち受け画面に設定している人の中でも、顔がはっきり分かる写真を使用している人と、横顔や下を向いている写真など推しだと気づかれにくい写真を選んでいる人が存在し、同じ「推し待ち受け」であっても、見せたい度合いや周囲への配慮の仕方によってタイプが分かれることが考えられます。

(3) ウィジェットを表示している人が多い

待ち受け画面にウィジェットを設定している人が多く、特に天気や時計など日常的に確認する情報を配置している傾向が見られました。その中でも、充電残量を表示するウィジェットを設定している人が複数おり、スマホのバッテリー状況をひと目で把握したいというニーズが一定数存在すると考えられます。

(4) 天気の設定にしている人も少数いる

待ち受け画面を現在の空模様が反映されるデザインに設定している人も見られ、実際の天気と連動して背景が変化するタイプを使用している例が確認されました。このような設定を選ぶ人は、視覚的にその時々天候を把握したい、あるいは日々の空の変化を楽しみたいというニーズを持っていると考えられます。

調査概要

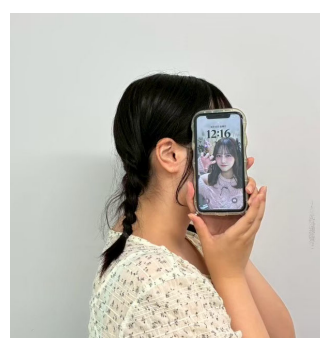
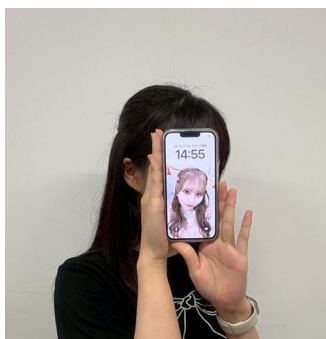
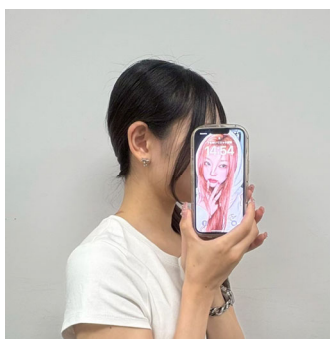
- ・調査対象：実践女子大生（全学年、全学部）
- ・調査方法：フィールドワークによる写真撮影および対象者観察
- ・調査期間：2025年7月～2025年8月
- ・調査場所：実践女子大学渋谷キャンパス・調査協力者の居住内スペース

調査担当者

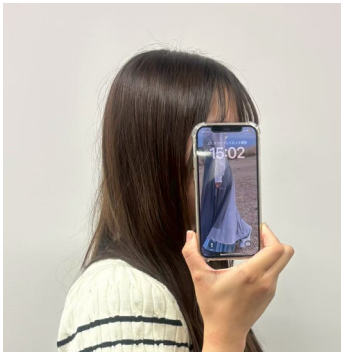
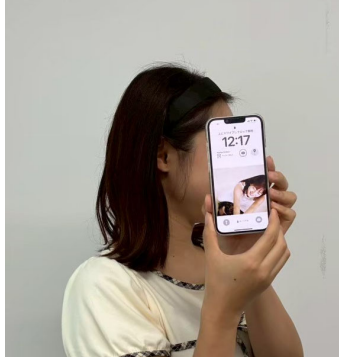
実践『ペルソナ』研究会 大関実佐季・石川瑚依・高野菜々葉

写真

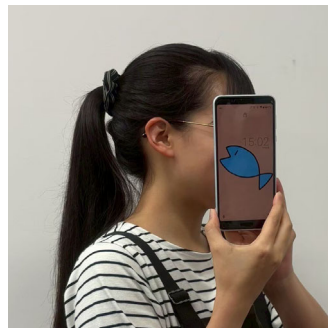
【推し①】



【押し②】



【イラスト】



【天気】



【その他】



調査後記

今回の調査を通じて、女子大生の待ち受け画面には多様な傾向が見られることが分かりました。特に「推し」を待ち受けに設定している人が多く、日常の中で推しの存在を身近に感じたいというニーズが強いことが明らかになりました。また、推しを設定している人の中でも、顔がはっきり分かる写真を選ぶ人と、横顔や下を向いた写真など推しだと気づかれにくい写真を選ぶ人に分かれており、同じ“推し待ち受け”であっても、見せ方や周囲への配慮の仕方に個人差があることも確認できました。さらに、ウィジェットを活用して天気や時計、充電残量などを表示する人が多く、実用性を重視した待ち受けの使い方が広く浸透していることも分かりました。一方で、現在の空模様が反映されるデザインを設定している人もおり、視覚的な楽しさや気分の変化を求める使い方も見受けられました。

今回の調査において、多くの学生の方々に快く調査への回答や写真の提供をしていただいたことで、報告書を作り上げることができました。ご協力いただいた皆様には、この場をお借りして深く御礼申し上げます。今回の調査での経験を今後の調査分析にいかせるよう、メンバー一同精進いたします。

下図は、今回の調査を踏まえて生成 AI（ChatGPT。2026 年 1 月 22 日（木）13：19）で出力した、ペルソナのイメージ図です。

